

令和4年10月4日開催

農政建設常任委員会資料【所管事務調査】

農林水産プロジェクトについて 1～4

所管委員会	農政建設常任委員会
提出課	農政課ほか

農林水産プロジェクトについて

1 プロジェクトの概要…P4「農林水産プロジェクト」参照

(1) 目指す姿

- ①農林水産物の販売力強化のため、自ら売る力を育成するとともに、ふるさと納税制度を積極的に活用し、地域産品の需要を拡大
- ②人口減少や高齢化が進行する中で後継者を確保・育成するため、農林水産業の魅力発信や継承支援を強化
- ③ICTの活用や地元木材の利用促進等により、地域の活性化を図りつつ、中山間地域の農林業を未来へ継承

(2) 主な取組内容

- ①農林水産物の販売力強化
- ②後継者の確保と育成
- ③中山間地域の農林業の継承

(3) 推進体制

- ・ 主担当課：農政課、農村振興課、農林水産整備課
- ・ 関係課：用地管財課

2 取組状況

(1) これまでの取組経過

①農林水産物の販売力強化

ア 先進的農家に学ぶ販売力強化研修の開催

- ・ 先進的農業者やマーケティングの専門家を講師として、農林水産物等マーケティング活動実践塾（全8回）を開催（第4回が終了。11事業者が受講）

イ 効果的なマーケティング活動の取組支援

- ・ 「農林水産物等マーケティング活動支援事業補助金」を活用し、自社のウェブサイトのリニューアルや商品の販売促進パンフレット、オリジナルの米袋の作成などを支援（9月1日現在の事業活用件数：19件）

ウ ふるさと納税制度を活用し上越産品の魅力発信

- ・ 農業者のみを対象とした説明会を7月13日に実施するなどにより、ふるさと納税の返礼品提供事業者の登録者数は、8月31日現在106事業者であり、うち農林水産関連は34事業者

エ 有機栽培米など付加価値の高い産品の生産拡大

- ・ 「有機JAS認証取得事業補助金」及び「GAP認証取得事業補助金」を創設し、有機栽培の導入や生産体制の改善などを図る取組を支援（活用件数：2件）

②後継者の確保と育成

ア 受入農家と就農希望者のマッチング

- ・県内、近県の農業大学校等を訪問し、当市への移住・就農に向け当市の新規就農支援制度のPRを実施
- ・新・農業人フェア（東京国際フォーラム）において、新規就農支援制度などを周知

イ 先進的農家との連携など研修体制の充実

- ・4月から新たに「経営継承コーディネーター」を1人配置し、新規就農者への訪問、就農相談の実施体制を強化

③中山間地域の農林業の継承

ア 森林整備等による上越産木材の利用促進

- ・森林経営管理制度の活用に向けて、市内3地区で森林所有者の意向調査を実施し、回答結果を踏まえ経営管理権集積計画の作成に着手
- ・木材用のストックヤードの必要性について、関係者と現状や課題等を協議

イ ICTの活用による農業の省力化・効率化

- ・清里区楡池地区をモデル地区としたICTの活用については、国の計画承認を受け、調査の実施（契約）に向けて準備

ウ 捕獲活動への支援やICTの活用による獣害対策の強化

- ・緩衝帯の実証地でのイノシシ等の出没状況を把握するため、センサーカメラによる遠方監視のほか、ICTを活用した各種捕獲実証を5月から順次開始

（2）今後の取組

①農林水産物の販売力強化

- ・付加価値の高い有機農業を推進するため、県の物価高騰緊急対策を活用した有機質肥料等への転換を進めるとともに、11月に有機農業に関する研修会を開催する。

②後継者の確保と育成

- ・農業・酪農求人サイト「アグリなび」、市ホームページ「上越市農業なび」の情報を随時更新し、おためし農業体験や就農希望者の勧誘をするほか、担い手の受入希望農家と就農希望者とのマッチングを進める。
- ・当市に新規就農した農業者を定期的に訪問し、経営状況等を確認する中で、関係機関・団体と連携して安定経営に向けた助言等のサポートを行う。

③中山間地域の農林業の継承

- ・上越産木材の利用促進に必要な取組について、関係者との協議を進める。
- ・ICT活用に向けた先進地研修や、地域でのワークショップを実施予定
- ・ICTを活用した各種捕獲実証を進めるほか、若年層を中心に新しい猟友会会員を確保・育成していくため、農業者が集うイベントを捉えて周知活動を展開

(3) スケジュール

主な取組	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
① 農林水産物の販売力強化					
ア 先進的農家に学ぶ販売力強化研修の開催	実践塾	検証して取組改善			
イ 効果的なマーケティング活動の取組支援	農林水産物等マーケティング活動支援事業費補助金による支援			検証して取組改善	
ウ ふるさと納税制度を活用し上越産品の魅力発信	ふるさと納税制度を活用した魅力発信				
	返礼品の実績を踏まえた検討会の開催				
エ 有機栽培米など付加価値の高い産品の生産拡大	有機JAS認証取得補助金等による支援			取組状況に応じて対策を強化	
② 後継者の確保と育成					
ア 受入農家と就農希望者のマッチング	就農イベントへの参加、受入農家と就農希望者のマッチング				
	取組状況に応じて対策を強化				
イ 先進的農家との連携など研修体制の充実	経営継承コーディネーターの設置	検証して取組改善			
③ 中山間地域の農林業の継承					
ア 森林整備等による上越産木材の利用促進	集積計画作成	民間事業者の公募・選定	集積計画に基づき間伐		
イ ICTの活用による農業の省力化・効率化	モデル地区の調査計画作成		施設整備		
ウ 捕獲活動への支援やICTの活用による獣害対策の強化	猟友会が行う捕獲活動への支援			検証して取組改善	
	スマート捕獲実証		検証して本格実施		

農林水産プロジェクト

- ・農林水産物の販売力強化のため、自ら売る力を育成するとともに、ふるさと納税制度を積極的に活用し、地域産品の需要を拡大
- ・人口減少や高齢化が進行する中で後継者を確保・育成するため、農林水産業の魅力発信や継承支援を強化
- ・ICTの活用や地元木材の利用促進等により、地域の活性化を図りつつ、中山間地域の農林業を未来へ継承

【現状】
 農林水産業は、食料供給だけでなく、国土の保全、水源の涵養、文化や伝統の形成・継承など様々な恩恵をもたらしている。



【課題】
 食の多様化等による米の消費量の減少、生産者の高齢化や担い手不足、森林管理の粗放化等による鳥獣被害の増加、地球温暖化による異常気象など厳しくなる状況へ適応していく必要がある。

【目指す方向性】 上越市が誇る農業・林業・水産業の価値と魅力が将来にわたって輝き続ける状態

農林水産物の販売力強化



上越市の特産品の一例

後継者の確保と育成



サポートを受ける新規就農者

中山間地域の農林業の継承



上越産の木材



ドローンの活用

プロジェクトの主な内容

- 先進的農家に学ぶ販売力強化研修の開催
- 効果的なマーケティング活動の取組支援
- ふるさと納税制度を活用し上越産品の魅力発信
- 有機栽培米など付加価値の高い産品の生産拡大
- 受入農家と就農希望者のマッチング
- 先進的農家との連携など研修体制の充実
- 森林整備等による上越産木材の利用促進
- ICTの活用による農業の省力化・効率化
- 捕獲活動への支援やICTの活用による獣害対策の強化

